

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 4 回 定例委員会
日 時	令和5年4月28日 自 15時00分 至 15時37分
場 所	第2庁舎1階会議室
出席委員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 竹 中 響 紀
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 稻 場 和 宣 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 竹 中 響 紀
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（福原教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3 会議録の承認
（福原教育長） 第3回定例教育委員会（令和5年3月24日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（福原教育長） 教育長に就任し1年が経過しましたが、令和5年度は教育大綱、学校教育推進計画そして生涯学習推進基本計画が新たにスタートします。新大綱、新計画が着実に進められるよう、教育委員の皆様と議論を深めつつ、ご指導とご協力をいただきながら、教育行政を推進してまいりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。
それでは、3月28日開催の第3回定例教育委員会以降の主な事業などについて報告をさせていただきます。
始めにこの度の4月1日付け人事異動の総括についてですが、4月3日には委員会事務局職員について園田教育部長を含む19名に辞令を交付いたしました。4月4日には学校教職員の辞令交付式を教育センターで行い、校長17人、教頭10人、そし

て新採用教職員25人について、私から辞令交付を行い、一般教員については各学校で校長から辞令を交付していただきました。なお、委員会事務局の中で、これまで斎藤次長が総務企画課長の事務を取り扱っておりましたが、この取り扱いを解き、新たに総務企画課長を配置するとともに、施設課長の事務を山地次長が取り扱う体制の見直しを行いましたので、報告いたします。

10日には、小中学校で入学式が執り行われました。新1年生は小学校1274人（男640人、女634人）、中学校1443人（男725人、女718人）でございます。なお入学式は、前日に行われた統一地方選挙の投票所の関係などから、中学校を午前に、小学校を午後に開催するなど、学校ごとに工夫を凝らしながら行われました。同じく10日には「義務教育学校 苫小牧市立植苗小中学校」の開校式が執り行われ、教育委員の皆様にも出席をいただきましたこと、感謝いたします。本市で初となる義務教育学校であり、今後の学校運営がスムーズに進むよう、市教委としてもサポートしてまいりたいと考えております。

11日には、「第1回校長会議」が岩倉市長の出席を得て開催されましたが、委員の皆様、お忙しい中、出席ありがとうございました。来賓の退席後、私からは、少子化対策、子育て支援など市長部局と市教委が連携して取り組む考えを説明するとともに、現下の社会経済情勢などの時代認識と、それに対する国や道、市の動きに敏感であって欲しいことをお願いしました。このことは、20日に開催された「第1回教頭会議」でも同様のお願いをしたところでございます。

また、18日には「転入校長研修会」を開催しました。令和5年度に市外から転入した方と新たに校長になられた方など6名の校長に、私からは「苫小牧市と苫小牧市教育の現状と課題」と題して、人口減少と少子高齢化を迎えている本市の現状のほか、今後の市政運営と教育行政の関わりの重要性について説明をいたしました。今回の転入校長の中には、道教委から学校現場へ復帰された校長が2名おり、教育行政の経験を活かされることを期待しております。

次に、生涯学習関連の事業につきましては、4月17日に「苫小牧市 長生大学入学

式・始業式」が開催されました。90名の新入生をお迎えし、新年度の学生数は本科193名、研修科45名の計238名となっています。来賓として山本俊介副市長、小山征三市議会副議長に祝辞をいただきました。私からは「長生大学の活動のみならず、地域や社会活動にも積極的に参加されていることに敬意を表したい。」と式辞を述べたところであります。

次に、19日に胆振東学区の効率高等学校配置計画地域別検討協議会がオンライン会議により開催されました。胆振東学区の令和5年度から令和7年度公立高校配置計画については、穂別高校が令和7年度に募集停止となる計画が示されました。また、令和8年度以降については、学区の現状の中で、特に苫小牧市で令和10年に36人、令和12年に93人という大幅な減が見込まれることから、苫小牧市及び周辺町で再編整備を含めた配置の在り方の検討が必要との考えが示されました。高校再配置の今後の動きについては、生徒の進路選択や本市のまちづくりにも影響する事案であり、市教委としては高い関心をもって注視してまいります。

次に、25日には、令和5年度の教育部の課題について、市長へのレクチャーを行いました。今年度の教育部全体の課題としては各課合わせて10数本ありますが、その中から「ふるさと教育の推進」と「不登校問題への対応」の2点について、市長へ説明を行いました。ふるさと教育については、子どもたちに故郷苫小牧を知って欲しい、体現して欲しいという思いを実行していくこと、不登校問題については、増加を続ける不登校児童生徒に対し、今年度から運用開始した「支援に関する指針」に基づき実効性のある取組を説明しました。いずれにしても、両課題とも、学校、地域など関連する方々との意見交換、議論を重ね、共に考えていく必要があるものでございます。

最後に、令和5年は苫小牧港が開港して60周年（昭和38年4月24日開港）입니다。これを記念して様々な開港60周年記念事業が計画されておりますが、そのなかで、若い世代に港を知ってもらう機会を創出することにより、港湾に関連する業務の認知度やイメージ向上を図るため、小学3～4年生を対象に「苫小牧港の歴史や役

割」と題した出前講座を検討しています。本市は、苫小牧港の拡大とともに街が発展拡大を続けている都市であり、苫小牧港を利用する多くの企業やそこで働く方々により、この街が支えられていると言っても過言ではなく、先ほどお話しした「ふるさと教育」にもつながる取組であることを、校長会でも説明し、理解と協力、そして、子どものみならず先生たちにも港を知る機会にして欲しいと伝えたところでございます。報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 令和5年度教育費補正予算について

(福原教育長) 議案第1号「令和5年度教育費補正予算について」を議題といたしますが、市議会にて審議予定の案件で、招集告示前に公開することは適切でないと考えられますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、議案第1号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。

6 報告・協議

報告（１）「不登校児童生徒の支援に関する指針」の運用に係る民間施設
訪問の結果報告について
（教育部桑島参事） - 「不登校児童生徒の支援に関する指針」の運用に係る民間施設訪問の結果報告について説明-
（福原教育長） 質疑に付します。何かございませんか。
（齋藤委員） 子供の居場所づくりや学校へ行きにくい子を受け入れている民間の施設は、ここに出てきているものすべてなのでしょうか。そしてそこを訪問した結果がこの内容ということでしょうか。
（教育部桑島参事） はい。こちらで把握している施設として、当初３施設と説明させていただいておりましたが、その後ご連絡いただいて、２つの施設が新たに加わったということでございます。
（佐藤委員） ２点お伺いしたいのですが、まず１点目、訪問した施設には指導要領上の出欠扱いや周知を求めているなど様々な条件がありますが、現在利用人数はどのくらいなのでしょうか。
（教育部桑島参事） 現在学びを伴う施設の利用者は１名、問い合わせをいただいているという報告を受けております。居場所づくりを目的としている施設については、ちょうど春休み期間に訪問させていただきましたが、その際に３名ほど施設を利用しているというお子さんがいるということ把握しております。
（佐藤委員） もう１点は、広報に載せないとのことだったのですが、フリースクールがあるという情報は学校関係者のみでわかるようになっているということかと思いますが、どのようなフリースクールがあるのか一般の方が知る方法はないのでしょうか。
（教育部桑島参事） 現在そういったことも含めて、どういった周知の仕方をしていけばよいのかということを検討し、準備を進めさせていただいております。

(福原教育長) 学校から保護者へは情報提供されるのでしょうか。
(教育部桑島参事) はい。保護者から学校へ相談を受けた場合に、学校からそういった資料を準備し、伝えてもらう、また更に民間の公的機関を含めた周知や、全体的な周知についても現在考えております。
(福原教育長) 他に何かございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、報告第1号の質疑を終結いたします。
報告(2) タブレットの持ち帰りについて
(教育部斎藤次長) -タブレットの持ち帰りについて説明-
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(斎藤委員) タブレットの破損や紛失による自己負担が心配といった意見がありますが、その場合どのような対応になるのでしょうか。
(教育部斎藤次長) タブレットの破損につきまして、今回 ICT ハンドブックという我々が決めている内容の中で、明らかに過失がある場合保護者の方に自己負担していただくという形をとっております。明らかな過失という部分の判断が難しいところではありますが、そういった取扱となっております。
(斎藤委員) 自己負担となった場合、どの程度の金額がかかるのでしょうか。
(教育部斎藤次長) 今回導入したタブレットの現物を補償してもらうことになりましたので、購入時はおおよそ4万5千円でしたが、現在物価の高騰もありますので7万円くらいかと思えます。全額補償していただくかどうかについても、相談になるかと

<p>思いますが、現状としてはそのようになっております。</p>
<p>(齋藤委員) 保険などは特になのでしょうか。</p>
<p>(教育部齋藤次長) はい。</p>
<p>(福原教育長) 修理などはなく、いきなり補償ということになるのでしょうか。</p>
<p>(教育部齋藤次長) 修理で直る場合については、こちらで費用を負担し修理いたします。</p>
<p>(佐藤委員) 2点ほど教えていただきたいのですが、回答率35、1%というのは予想していた回答率とどの程度相違があったのでしょうか。</p>
<p>(教育部齋藤次長) 今回のアンケートは全てメール配信し、オンライン上で回答していただくものなので、大体いつもと同程度の回答率となっており、こちらから何度も回答を促しているものではないので、統計を取るためには十分な数字だと思っております。</p>
<p>(佐藤委員) 65%の方が回答していないということになりますので、回答していない方の、ご意見等はどのようになっているのだろうと個人的に思いましたので、伺いました。そしてもう1点、本市は東西に広がっており、地区によって学校の環境等も変わってきますが、今後同様なアンケートを実施するのでしょうか。</p>
<p>(教育部齋藤次長) 先ほど説明の中でお話ししましたが、この後の取組については各学校にお任せするような形で考えておりますので、それぞれの学校で評価が必要であれば行うと思いますが、市教委で取りまとめて実施するという事は現在考えておりません。</p>
<p>(福原教育長) 他に何かございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、報告第2号の質疑を終結いたします。</p>

報告（３）教育委員会職員の人事異動に係る協議について

（福原教育長） 報告第３号「教育委員会職員の人事異動に係る協議について」を扱いたいと思いますが、人事案件でございますので、教育委員会会議規則第２１条の規定により秘密会にて審議したいと思います。よろしいでしょうか。

（一同「はい」の声）

（福原教育長） それでは、報告第３号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。

（福原教育長） これより、秘密会と決定しました議案第１号及び報告第３号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

（福原教育長） それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第１号につきましては、原案どおり決定し、報告第３号につきましても、審議を終結したことを申し添えます。

７ その他

（福原教育長） 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何か

ございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（福原教育長）・・・15時37分